

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 古賀 悠裕
所属 (School) 工学研究科 機械系専攻
学年 (Grade) 修士 2 年

留学先 (Name of overseas institution)
シドニー工科大学
留学期間 (study abroad period)
2016 年 2 月～2017 年 1 月

記入日 (Date) 2017 年 1 月

留学レポート Study Abroad Report

こんにちは。

少しでも留学志望者の背中を押せたらと思い、書かせていただきます。

まず、私が長期留学を志した理由は二つあります。

かなり単純ではありますが、海外で働きたいと強く考えていたため、英語力の向上が目的の一つでした。もう一つは、異文化の中で長期間生活することでしか得られない達成感や疲弊感を感じることで、更に自分を成長させたいと思ったからです。

現地で出会った学生の中には、アボリジニについて勉強したいからオーストラリアに来たという方もいましたが、私の動機はそんな高尚なものではなかったです。

私の留学したシドニー工科大学は、幅広い分野で履修、勉強することが選択できることが選定の理由でした。シドニーシティのど真ん中にあり、都会的な立地は大学生活のみならず日常の生活においても利便性もとても良く、刺激的なものでした。

受講にあたっては、留学前に講義受講のための指定の IELTS スコアが十分でなかったため、前期はオーストラリアの文化を学びながら英語を勉強していくという授業を履修しました。

私にとってこの渡豪が初めての海外だったので、異文化を勉強するいい機会になりましたし、スコアを取るために自分も含めて周りも必死に英語を学習していました。

勉強の甲斐もあり、後期は工学系の授業と経済・経営系の授業を履修しました。どちらもディスカッション形式だったので積極的に発言することや、授業時間外での勉強がかなりハードでしたが思っていた以上の成果が得られたと思います。

ここからは勉強とは大きく離れますが課外活動等について述べます。

英語を勉強しに渡豪しましたが、挫折の連続でした。

精神的に疲弊していた節もありますし、英語をツールとして使う必要性を大きく感じ、英語で話すだけなのに圧倒的な劣等感しか感じていなかったのも、英語を使いたい、使わないといけないと思うのはどこだろうと探し、行きついたのが得意とするバレーボールでした。経験者であったことを活かしてバレーを武器に何とか現地の人とコミュニケーションをとれるようになって、オーストラリアでの生活により馴染めればとの一心で、現地のクラブチームの門をたたきまくりました。

時に相手の話すスピードが速すぎて、褒められているのか、けなされているのかわからないこともありましたが、いろいろオファーをもらった中から **1** チームを選んで所属しました。大学生から社会人まで幅広い層で構成されたチームであったので私のように留学生も多く在籍していました。もちろん英語力が格段に伸びたわけではありませんが、チームメイトとかなり仲良くしていたこともあり、少しずつ気持ちに余裕ができてきました。その中で、英語で話す不安感を抱いているのは日本人だけではないということ次第に理解するようになりました。英語といっても結局は語学で、継続的にやることや、態度やトーン、身振り手振り、表情等がほんとに重要だなと痛感します。臆することなく挑戦してみること、それが一番大切なことだと思います。

このことを通して私はたくさんの人達と縁を結ぶことが出来、現地でのアルバイトも経験でき、自信をもって自分なりの目的も達成できたと思います。

私は大学院での留学ということもあってなかなか例がなく、私自身も院での一年を投資し、就活の時期を遅らせてまで留学するべきか悩みました。しかし私的には、興味があるのならば短期、長期にかかわらず留学は十分意味があることだと思います。

事前に、目的を持っていくことも大切ですし、その準備も大切ですが、現地について感じることもの方がたくさんあると思います。むしろそれがかけがえのないもので、一歩踏み出さないとわからないと思うので、迷っているなら絶対に行ったほうが良いと思います。

異国での生活そのもの全てが確実に自分に深みを与えるような貴重な経験です。

私自身、大学での学生生活はもとよりアルバイト、クラブ活動、そして夜一緒にクラブで飲み歩くのも言葉にできない程のいい経験になりました。

踏み出したからこそ、かけがえのないたくさんの友人もでき有意義な1年を過ごすことができました。

留学に対して迷いの気持ちがある人への一助となれば幸いです。

頑張ってください。